

日立店「共楽館」 創建100周年記念パネル展開催 ～ふるさと日立と共に～

イトーヨーカドー

2018/03/07

7 SEIYUN & AI HLDGS.

CSRアクション

わが街「日立」の歴史・発展を見守ってきた鉾山の文化拠点、地域住民の文化の原点ともいえる、このまちのシンボリック存在です。みんなに愛されてきた共楽館の100年の歩みを写真パネル・絵画・映像などでご覧いただきたいと、11/19（日）～11/26（日）8日間記念展を日立店の催事場で開催しました。

年配のお客様を中心に平日は約200名、土日は約400名を超えるご来場があり、マスコミにも取り上げられました。

最終日には当時世界一の高さを誇る大煙突をテーマにした映画（2018年公開予定）「ある町の高い煙突」の松村克弥監督の講演もあり、映画製作の思いを語っていただきました。

この展示会を通して、日立店が地域のコミュニティの場となれたことを大変嬉しく思います。国の登録有形文化財、日立市指定文化財の共楽館をこれからも皆さまと共に守り育て、次世代へとつないでいきたいと願っています。



イトーヨーカドー
日立店
管理統括マネジャー
太田 浩史

共楽館の概要

共楽館は、久原房之助が創業した日立鉾山の福利厚生施設として、大正6年2月に建設され歌舞伎や映画の上映館、大相撲などに使われていました。

従業員と家族の慰安・娯楽を目的に「共に楽しむ館」として共楽館と命名されました。

設計・施工は従業員の鉾山技師、青森出身の宮大工などによって、和洋折衷の建築様式・鉾山技術を駆使して、わずか9か月で建設された建築物です。

昭和42年に市に寄贈され武道館となりました。



記念展 初日のテープカット
日立店 浦川店長も立ち会いました。

パネル展 & 松村克弥監督講演会



共楽館創建100周年記念パネル展



松村克弥監督による講演会



ある町の高い煙突
松村克弥監督



映画「ある町の高い煙突」※2018年公開予定

- 原作：新田次郎 ■脚本：渡辺善則 ■脚本・監督：松村克弥
- プロデューサー：亀和夫・城之内景子



関連情報

- 茨城) 日立市の旧「共楽館」100周年でパネル展
<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20171119001693.html>